

<幹事報告：平田洋一幹事>

◆松戸西ロータリークラブ

11月6日(水) ガバナー公式訪問の為夜間例会に変更 点鐘 18時
11月13日(水) 11月10日 地区大会に振替

◆我孫子ロータリークラブ

11月12日(火) 10日地区大会へ変更
11月26日(火) ガバナー公式訪問



<委員会報告：社会奉仕委員会：高崎卓哉委員長>

10月15日ロータリー農園にて「いも掘り大会」が無事開催されました。
会員の皆様御協力ありがとうございました。詳しくは会報1986回に掲載されています。

<クラブ協議会>

11月5日(火)の19時10分より、関口徳雄ガバナーを迎えて、第2回クラブ協議会が開催されました。



<ニコニコ委員会：小林 弘委員長>

■関口徳雄ガバナーよりニコニコをいただきました。😊

■小林 弘：10月23日(水)ゴルフ同好会のコンペに於いて天候とハンデキャップとパートナーに恵れ準優勝する事ができました。
加えて、競馬も大当たりでいただきました。
次回も又、頑張りますのでよろしく。



■吉田俊一：ガバナー訪問日に合わせて菊が咲いてくれました。松戸の展示会も戸定館で行われております、幸い4部門で首席になりました。時間のある方は見に行ってみれば幸いです。大阪へ出展した結果はまだですが期待して居る所です。

■渡辺敏弘ガバナー補佐：関口ガバナー本日は公式訪問御苦勞様です。御指導の程よろしくお願ひ致します。今月9～10日に開催される地区大会を目前に控え健康には充分留意をされて御活躍下さい。

■鈴木悦朗：10/23(水)ゴルフ同好会のコンペで優勝させていただきありがとうございました。3連覇に向けてがんばります(^^)

■児山守治：関口徳雄ガバナー公式訪問ありがとうございました。当クラブ全員がガバナーに会える日を楽しみに待っておりました。ここで一句
☆神の旅 出雲のくにへ 急ぎ足☆

■平田洋一：関口徳雄ガバナー公式訪問お疲れ様です。少しの時間ですが勉強になりました

■奉仕の理想 (Ideal of Service) ■

己に天職という使命を与えてくれた社会、また己の職業を生かし続けさせてもらっている社会に感謝するとき、その仕方(奉仕)の基本として個人生活、社会生活、職業生活に於いて利己的欲求は最小限にとどめ、常に最大利他の究極を求め続けて行こうとするロータリーの奉仕哲学である。



社会奉仕基金 5,366円

《会報編集委員》高橋 修・織田証・大川隆永・瀧上啓太

国際ロータリー第2790地区第12分区

松戸北ロータリークラブ



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

第1988回 例会 2013年11月5日(火)

- 国際ロータリー会長 ロンD. パートン
- 第2790地区ガバナー 関口 徳雄
- 第12分区ガバナー補佐 渡辺 敏弘
- 松戸北ロータリークラブ会長 児山 守治
- 松戸北ロータリークラブ幹事 平田 洋一
- 例会日 - 毎週火曜日12:30より (第1例会18:30)
- 例会場 - 松戸市八ヶ崎1-10-6 「びわ亭」
- 事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイム101
- TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910
- Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

WEEKLY REPORT

<第1988回:例会プログラム>

18:00	点鐘 ロータリーソング斉唱 【♪我等の生業】	児山守治会長
18:03	お客様紹介	崎谷延好会長エレクト
18:05	会食	
18:25	例会再開 会長挨拶・報告 幹事挨拶・報告	児山守治会長 平田洋一幹事
18:30	卓話	関口徳雄ガバナー
18:55	【委員会報告】 10/15芋掘り大会の報告 本日の社会奉仕基金発表 ニコニコ委員会 本日のニコニコ発表	高崎卓哉委員長 小林弘委員長
19:00	点鐘 休憩	児山守治会長
19:10	クラブ協議会 開会	
20:40	クラブ協議会 閉会 懇親会	



<会長挨拶：児山守治会長>

皆さん こんにちは。

晩秋となり 朝夕は肌寒い時もあります。 どうぞお身体ご自愛いただきたいと思います。

本日は関口ガバナーをお迎えしての例会 後程ガバナーからたくさんの情報や楽しい卓話をお伺い出来る事を楽しみにしております。

時間がありませんのでこれにて挨拶といたします。



■ロータリーの奉仕哲学「超我の奉仕」Service above self■

このServiceの意味は人のためにつくすこと。ビジネスでもServiceの心がけはシエルドンの言葉を借りれば「永続的な顧客を得る道」であり、信用を増して繁栄への道につながる。

WEEKLY REPORT

←(別紙より続き)

そうしますと、当然のことながら、ロータリアン一人一人が「職業奉仕とは何なのか」「職業奉仕が如何なるものか」ということについて十分に理解しておく必要があります、ロータリーの内外からいつでも誰に対しても(自らの見解とし)職業奉仕を説明できなければならないのです。



ひるがえって、新入会員に対しても、ベテランロータリアンがしっかりとオリエンテーションを実施して、この点を認識させ、職業奉仕を理解させなければならないのです。

ついでながら、職業奉仕を更に深く理解するためには、その「対となる」ところの社会奉仕を正しく理解しないと、結局のところ、職業奉仕と社会奉仕の区別がつかなくなってしまうのです。

そこで、職業奉仕と社会奉仕を厳密に分ける必要が生じてくるのです。そして、当然のことながら「I serve」か「We serve」かの区別にも関連します。

<私が考える職業奉仕とは>

極めて抽象的な表現ですが、「自分の仕事の中で、奉仕の理念を追求すること」に尽きると思います。あくまで個人がなすことです。具体的に申しますと、

- ① ロータリアンとしては、先ず第一に自分の仕事を真面目にコツコツと一生懸命行うことです。そのためには、自分の仕事に誇りと責任を持ち、又、常に職業倫理的・道徳的水準の向上を図らなければなりません。
- ② 第二に、他の人の仕事の価値観も同時に認めることです。
- ③ 第三に、自分の仕事の腕を社会に役立てる事です。

そして、その際の手法は、奉仕の理想(理念)を目標に、

2つの標語 超我の奉仕 — 弱者を助ける人道的な奉仕活動

He profits most who serves best — 事業の継続的な繁栄を願う

職業奉仕理念

を胸に秘め、4つのテストを秤(計り)として、8つの行動規範に基づいて行うことでもあります。

では、クラブを何をすべきかと言うと、クラブは、この模範となるような実例を示したり、クラブ会員が自己の職業上の腕を発揮できるようなプロジェクトを開発することによって自己の目標を實踐できるように推奨することです。



■米山梅吉 (UMEKICHI YONEYAMA)■

1920年世界855番目のRC(東京RC)を創立し、日本に初めてロータリーを導入した。東京RCの初代会長に就任し、日本のロータリーの発展の基礎を築いてくれた偉大な人である。